

# Wish

Vol.20  
August 2021

## Contents

新責任者  
ごあいさつ

精神疾患における  
ブレインバンクの役割

アルツハイマー病新薬  
が米国で承認

登録者の推移

皆さまからの声



お問い合わせ資料のご請求はこちら

**NCNPブレインバンク事務局** <http://www.brain-bank.org/>

187-8551 東京都小平市小川東町4-1-1 国立精神・神経医療研究センター内  
TEL : 042-346-1868 Email : info@brain-bank.org





## ごあいさつ

ブレインバンクの情報パンフレットであるWISHをお読みいただき、ありがとうございます。令和2年から、センターのブレインバンクを担当させていただいている高尾昌樹です。

ブレインバンクは、死後に自分の臓器である脳を医学の発展のために保管する施設です。人間の病気、特に脳の病気の原因を明らかにして、その治療法を開発するためには、どうしても人間の脳そのものを研究する必要があります。欧米には様々な疾患のためのブレインバンクもありますが、日本ではまだまだ遅れています。

死後に、脳などの臓器を保管するためには病理解剖が必要になりますが、解剖への抵抗感なども強いのもかもしれません。

また、愛する方が亡くなられた際に、すぐに病理解剖やブレインバンクと言われても、落ち着いて考える余裕もないと思います。

しかし、尊厳死など自分の死に方を考える機会は多くなってきています。

今日、この記事をお読みになられている方は、ぜひともブレインバンクについてお考えいただきたいと思っています。そして、自分が死んだ後に、自分の脳を将来の医学のために提供するという選択肢もあることを知っていただければと思います。



ブレインバンク責任者  
臨床検査部部长  
高尾 昌樹

## 精神疾患におけるブレインバンクの役割

ブレインバンク精神科医 水谷 真志

今回は、現役の精神科医であるという私の立場から精神疾患の研究についてお話させていただきます。

一口に精神疾患と言っても色々な種類がありますが、代表的なのは統合失調症やうつ、双極性障害でしょう。

統合失調症や双極性障害はそれぞれ一般人口の100人に1人弱、うつは20%に起こるものと言われ、いずれも極めて重症かつ有病率が高いです。さらにはアルツハイマー型認知症患者15%に妄想が出現すると言われ、レビー小体型認知症においては60%の方にうつが出現するという報告もあります。

これだけありふれたものなのに、実は医学全般の中で精神疾患というのは最も解明が遅れています。

そして実のところ「なぜその病気が起きるのか」どころか「なぜその症状が起きるのか」すらよくわかっていないのです。レビー小体型認知症でパーキンソニズムが起きる理由は分かってきていても、なぜうつが起きるのかはあまりわかっていません。

精神の研究においては、他の研究に比べ動物実験や細胞実験が困難です。人類が一刻も早く解明し解決すべき精神疾患の問題の解明のため、引き続きブレインバンク活動に邁進してまいりたいと思っています。

# アルツハイマー病新薬が米国で承認

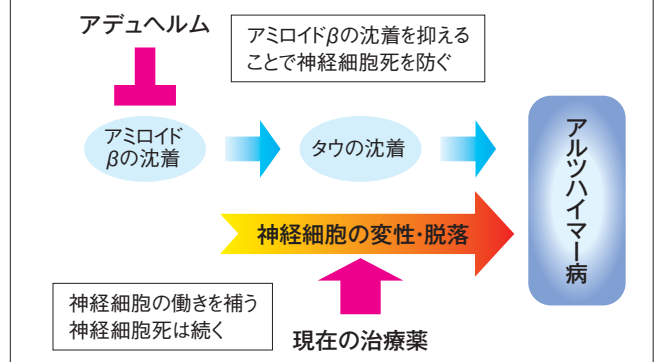
ブレインバンク・リサーチコーディネーター 森島真帆

ご存知の方も多いと思いますが、今年6月にアメリカの米国食品医薬品局 (FDA) により、18年ぶりにアルツハイマー病の新規治療薬が承認されました。この薬は、バイオジェンとエーザイが共同開発したアデュヘルム (一般名: アデュカヌマブ) と呼ばれる薬で、アミロイドβの沈着を抑制するヒトモノクローナル抗体薬です。これまでのアルツハイマー病治療薬とは全く異なる作用機序で働く新しいタイプの薬です。

アルツハイマー病患者の脳では、アミロイドβとタウが蓄積し、神経細胞が変性して死んでいきます。その結果、神経細胞同士の情報伝達機能がうまく働かなくなり、認知症を引き起こします。これまでの薬は、神経細胞の情報伝達機能の低下を補うことを目的としており、神経細胞死は止めることができないため、症状が多少改善することはあっても認知症は進行し続けました。それに対して、今回の新薬は、より早期に起こる (原因に近いところにある) アミロイドβの沈着を標的にしており、それを抑制することでその後の神経細胞死を防ぐ根本的な治療薬となることが期待されています。

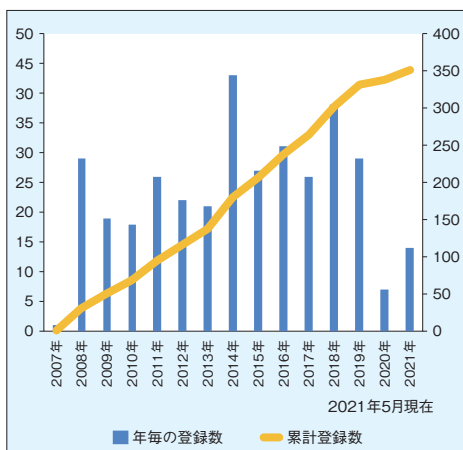
アルツハイマー病の原因はアミロイドβの沈着であるという仮説 (アミロイド仮説) の下、アミロイドβを標的にした治療薬の開発が長い間続けられてきました。その中で、アデュヘルムはアミロイドβの沈着を抑制する効果が認められて、アミロイドβを対象とする初めての治療薬として承認されました。しかし残念なことに、この薬の認知症に対する有効性は、まだ証明されたわけではありません。今回の承認は“迅速承認”という条件付きの承認で、今後、アデュヘルムによるアミロイドβの沈着抑制が認知症の進行を抑制することの検証が必要とされています。

図. アルツハイマー病の発症機序と治療薬の作用点

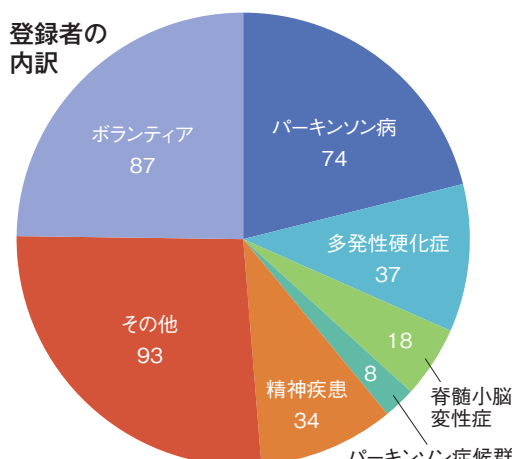


## 登録者の推移

NCNPブレインバンクの活動をお支下さりありがとうございます。2021年5月現在までの累計登録者数は351名です。



## 登録者の内訳



## 生前同意の確認について

事務局から生前同意ご意思の継続確認をさせて頂いております。同時に、住所やご連絡先等に変更がありましたら、お知らせ下さい。ご不安なことや質問等にもお答えしながら、皆様安心して登録を継続していただけるよう努めて参ります。

皆

さ

ま

か

ら

の

声

Q

「万一の時、どうしたらいいですか？」

A

ブレインバンク事務局へお電話下さい。夜間・休日は、時間外対応の連絡先にお電話下さい。事務局で病理解剖病院での解剖を手配いたします。ご家族は病理解剖病院へ登録者の方の移送手配をお願い致します。多くの場合、葬儀社に移送を依頼していただくことになります。

Q

「同居の家族は高齢、子供は遠方に住んでいます。  
剖検時に病理解剖病院へ同行するのは難しいのですが、どうしたらよいですか？」

A

登録者やご家族の高齢化にともない、このようなお声をお聞きすることが多くなってきました。ご家族の負担がないよう事務局も出来る限りのサポートをさせていただきたいと思えます。ご心配な方は是非、事務局にご相談下さい。

Q

「病理解剖には費用がかかるのでしょうか？」

A

費用はかかりません。病理解剖を行うためには、病理解剖実施病院への移送が必要です。病理解剖や病理診断費用、病理解剖実施病院への移送のため余分にかかった費用は、ブレインバンクで負担させていただきます。移送業者が決まった時点で、ブレインバンクへご連絡下さい。事務局でやり取りをさせていただき、移送業者へ直接お支払いを致します。

## Wish リニューアル しました!

ニュースレターをリニューアルいたしました。コロナ禍での生活が始まり1年以上が過ぎました。通院や介護を含め、大変な生活を続けておられる方も少なくないのではないのでしょうか。ブレインバンクでも、毎年開催していた市民講演会を今年はウェブ開催と致しました。お住まいの場所に関係なく多くの方に視聴いただける良さもありますが、会場で直接お会いすることが難しくなった寂しさも否定できません。

新装WISHでは、刊行数を増やし、皆さまとのコミュニケーションの場となるような紙面を目指していきたいと考えています。医療情報をはじめ、治療や生活に役立つ記事をお届けいたします。読者の皆さまのお声をお待ちしています。今、感じていることや思いを、メール、電話、お手紙でブレインバンク事務局までぜひお寄せ下さい。

### 第20回市民講演会をNCNPチャンネルで配信中!

脳を元気に! 今日を元気に!

# 健やかに生きるヒント



NCNP Channel 検索